

2026年4月13日

各位

会社名 ワンダープラネット株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 常川 友樹
(コード番号: 4199 東証グロース)
問い合わせ先 取締役 COO 兼 CFO 佐藤 彰紀
TEL. 052-265-8792

特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2026年4月13日開催の取締役会において、2026年8月期第2四半期（中間期）決算において特別損失（減損損失）を計上することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

当社は、2022年5月1日付でユナイテッド株式会社の子会社（当時）であるプラスユー株式会社との「クラッシュフィーバー（以下「本タイトル」という。）」に関する業務提携の解消および同社からの固定資産（運営権）の取得を行いました。

現在、本タイトルは運営11年目を迎え長期にわたり当社の収益基盤を支えております。しかしながら、近年のモバイルゲーム市場を取り巻く市場動向や競合環境、ユーザー嗜好の変化等の影響を受け、直近のKPIは運営権取得時の事業計画を下回る推移となっております。マーケティング投資や運営体制の適正化により継続した事業利益の創出に取り組んでおりますが、将来の収益予測を保守的に再評価し回収可能性を慎重に検討した結果、本タイトルの運営継続を前提としつつ、運営権の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額である81百万円を2026年8月期第2四半期に特別損失（減損損失）として計上いたしました。

なお、本件は固定資産の減損に係る会計基準に基づき固定資産の帳簿価額を減額する会計上の処理であり、手元資金や本タイトルの運営継続に影響を与えるものではありません。本タイトルは今後も当社の主力タイトルの一つとして運営を継続し、事業利益の創出に努めてまいります。

2. 業績に与える影響

本件により、2026年8月期第2四半期に特別損失81百万円を計上し、税引前中間純利益が同額減少する一方で、当第3四半期以降の当該固定資産に係る減価償却費負担が軽減されることにより、全社の営業利益が2026年8月期下半期に34百万円、2027年8月期通期に46百万円増加する見込みです。

当社は、2026年8月期の業績予想を非開示としておりますが、期間の経過等により、適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能になり次第、業績予想を速やかに開示することといたします。

以上